

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第20号

平成28年(2016年)
1月1日 発行



雪の「大阪城」

いじわるばかりしていたオオカミが、クマに優しくされ、それからは心を入れ替えて優しいオオカミになっていく——。

小学校に通う息子の授業参観は「道徳」。趣旨は「いじわるを反省し、優しくすることの大切さを知る」でしょうか。

もちろん優しくすることは大切です。しかし、いくらそのように心がけていても、嫌なことを言われただけで優しさなんて吹っ飛んでしまう私であるのも現実です。そこには人間の知恵から成る「道徳」だけでは収まりつかない身の事実があるからなのでしょう。

きっかけひとつでどのようになっても変わってしまう私の姿を、ありのままに知らせようとするはたらきが仏の智慧。

「道徳」を超えた「み教え」との出会いによつてのみ、本当の意味で私自身のあり方を自覚していく世界がひらかれていく——。オオカミと私とを重ね合わせながら聞いていた授業参観のひと時でした。

(隅谷俊紀)



と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

常光寺 佐々木太一ささき たいち

「有情」としての人間

言い換えれば人間は犬や猫と同じように本能のままに生きているということです。腹が減ったら何か食べる、眠かったら眠る。普段は抑制しているが、その心が狂ったら何をするかわからない。むしろ犬や猫より恐ろしいことをします。人間は親子、兄弟でも殺し合います。そういう存在が人間だといので、人間は「有情」、すなわち動物だと教えています。

我が身を振り返る心

しかし同時に仏教は人間のことを「マヌシャ」ともいいます。内に向かって考える、反省するという意味です。「恥ずかしい」「悪かった」「すまない」と自分を振り返ることができる。そういう反省の心を持っているという意味で、「マヌシャ」は「有情」に対して「有覚」

と訳されることもあるようです。

「有情」から「有覚」への道

仏教とは「有情」の私が教えに触れながら、「有覚」の私に成っていくことを目指すものです。「有情」から「有覚」への道が何によって成り立つのでしょうか。

縁に触ればどんな痛ましいこともやりかねない存在の私たちは、阿弥陀仏の喚びかけによらなければその危うさに気づくことはできません。お念仏申すことを通して「有情」である私の痛ましさ気づかされる。この体験を何度も繰り返していくことで「有覚」への道が開かれていくのです。

(平成27年3月21日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如にょ是ぜ我が聞もん

生死しやうじの苦海ほとりなし

中国教区・阿弥陀寺 大谷義博おおたにぎはく師



無量のいのち

平成27年10月27日、大阪別院にて報恩講が勤修され、大谷義博師からご法話を頂戴しました。

大谷師は惠照ご門主が御親教に引かれた「生死の苦海ほとりなし／ひさしくしずめるわれらをば／弥陀弘誓くぜいのふねのみぞ／のせてかならずわたしける」をご讃題としてお話しくださいました。

ご法話の中で印象に残ったのは「生死」についてでした。

この身にたまわったいのちであるはずなのに、いつの間

にか寿命の長短だけを比べたり、人生を自分の思い通りにしようとする苦しむ我々の生き方を「生死」といいあらわしているのだと話されました。

つまり切り離せないはずの生と死を、生はよい、死は嫌だというような自分の思いに当てはめようとし、その狭間はざまに我々は苦しんでいるのだと教えていただきました。

生死をいただく

そんな中「103歳になつてわかったことが一つある。

それは人生思うようにならないことだ」と語られる美術家の篠田桃紅とうこうさんの言葉や「思うようにならざることをよろこばん」という富山の念仏者の歌を紹介されました。

私自身、このお二方の言葉から、思うようにならない生死や、さらに生と死の間にある、私にとって都合の悪い老いや病さえも、身の事実としてそのままにいただく人生が開かれ、そしてそれをよるこ

び歩まれている力強さを感じました。

さらに大谷師が大きな白布に書かれた「生死」（生の下辺と死の上辺がくっついている）という字は、いのちのことだと話されました。そのいのちとは「正信偈」の最初に出てくる「帰命無量寿如来」の「寿」であり、そしてそれは自分の思いで量ることのできない南無阿弥陀仏のことばであると教えていただきました。

しかし生と死を別々に分けるから苦しむのだと喚びかけられても、すぐに自分の思いにかき乱されてしまいます。だからこそ、思いを超えた教え（弥陀弘誓くぜいのふね）がすでに用意されているのだと聞かせていただきました。

（玉出宗順 記）

大阪探検

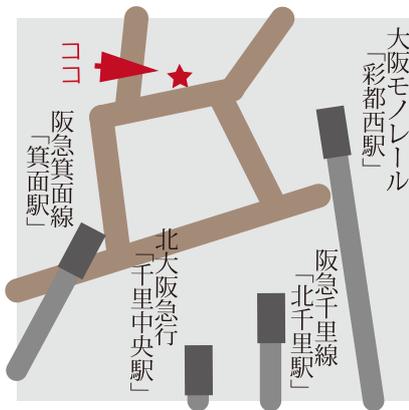
かつおうじ 勝尾寺



勝尾寺



二階堂



〒562-8508 大阪府箕面市勝尾寺
電話 072-721-7010

車・タクシーを利用して
北大阪急行「千里中央駅」から約20分
阪急「北千里駅」から約15分
阪急「箕面駅」から約15分
大阪モノレール「彩都西駅」から約10分

<http://www.katsuo-ji-empler.or.jp/index.html>

大阪北部・箕面みのにある勝尾寺は、寺伝によれば奈良時代に創建されました。平安時代には天台宗の寺院となり、山岳信仰の聖地となります。源平の争いにより焼失しますが、源頼朝の命をうけた熊谷直実くまがいなおせねらの尽力により、ほどなく再建されます。近世には真言宗の寺院となり現在に至ります。本尊は十一面観世音菩薩で、寺号より勝運かつうんの寺としても親しまれています。

法然上人と二階堂

念仏の弾圧により四国に流罪りゅうざいとなっていた法然上人でしたが、75歳の時、朝廷より罪を解かれます。しかし洛中への立ち入りは許されなかつたため、京都にほど近い摂津の勝尾寺に縁

あつて滞在されることとなります。そして帰洛されるまでの4年近く、本堂より奥まったところにある二階堂で念仏の日暮らしをされました。上人は当時の勝尾寺の僧侶たちが粗末な法衣を纏まとっていたのをご覧になり、新しい法衣を寄進され、またご所持の一切経も奉納されました。79歳の時、入洛を許された上人でしたが、帰京して2ヶ月後の建暦2けんりやく(1212)年1月25日、80歳で往生されました。

北摂屈指の観光名所

勝尾寺の近くには日本の滝百選の一つである箕面の滝もあり、付近一帯は桜や紅葉の名所として多くの観光客でにぎわう大阪有数の観光地でもあります。(門川崇志)

大阪の

ごえんさんを訪ねて

ふくせんじ 福泉寺 (大阪市) さぎしま ひでのぶ 白鷺洲秀信 住職



およそ六七〇年前に創建された福泉寺はJR福島駅からすぐの商業地の真ん中にあります。

現在の本堂は明治四十二年の大火の後、再建されました。奇跡的に大阪大空襲の戦火からは免れましたが、阪神淡路大震災では、本堂が傾く被害に遭いました。しかし先代住職とご門徒さんのご尽力により補強修復され、地域の寺院で唯一、木造の本堂と庫裏が残っています。

第二十五代目の白鷺洲秀信住職は、坊守さんと五歳になる娘さん、お母さんの四大家族でお寺を守つ

ておられます。

支えがあつてこそ

「T関係のサラリーマンと住職の二足の草鞋をはいていることについて」「大変だと思うことはないですか?」とお聞きしますと、「ときには仕事が重なり、やり残したことを考えながらお参りにいくこともありますが、衣に着替えて仏事を執り行くと自然と気持ち切り替わり、心穏やかになるように感じます」と言われました。

また「ご門徒さん、同僚、家族など周囲の理解と支えがあつてこ



福泉寺本堂

そ私の兼業の生活は成り立つということを、お寺の住職の環境が教えてくれると深く感じます」と語られます



チェロを奏でる住職

いつか、きっと

住職はチェロを十年ほど習っていて、いつかご門徒さんの前で恩徳讃を披露できればと思っておられますが、厳しい審査員である坊守さんが顔をしかめられるので、まだ機会を得ていないということでした。

(葦名 彰)

■福泉寺(ふくせんじ)
〒553-0003
大阪市福島区福島2丁目9番26号
電話 06-6458-9897

大悲トピックス

■大阪別院の宝物を公開

大阪市住吉区では毎年、地元
の歴史と文化を研究し発信する
「すみよし博覧会」が開催され
ています。今年はその中の「住
吉区の古仏をたずねて」の一行、
約20人が10月31日に大阪別院を
訪れました。

別院が所蔵する大阪指定有形
文化財16点の中から、本尊の木
造阿弥陀如来立像と、15世紀ご
ろの作と見られる絹本著色方便
法身阿弥陀如来画像を中心に拝
観しました。

参加者の中には、別院の近隣
に住む佛光寺派寺院のご門徒が
数人いて、10月27日の別院報恩
講の時に、鐘の音を自宅で聞いて
いたようです。そして「一度
お参りしたいと思っ
ています。こんなに近くに由緒ある佛

光寺の別院があり嬉しく思いま
す」と話していました。



説明に耳を傾ける「古仏をたずねて」の一行

■懇志御礼

三重県いなべ市 東光寺様

■新任職の紹介

善本和彦 (第五組・本光寺)

藤井真幹 (第六組・宝林寺)

■お悔やみ 謹んで哀悼の意を
表します

第二組・光用寺

佐竹寛祐 行年91歳

(9月11日寂)

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075)371-0367(代)
FAX (075)371-5088

御本山佛光寺御用達

井筒法衣店

〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤルTEL 0120-075-720番
フリーダイヤルFAX 0120-075-490番

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

(株) 小林造園

代表取締役: 小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1
tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK)

0120-567-701

※2012年5月現在 [2-0131]

燦ホールディングス グループ

なごみ庵

きたはま
KITAHAMA

法要料理 ■四條畷店 ☎0743-78-7521
■瓜破店 ☎06-6769-0140
■伊丹店 ☎072-773-7531

希望の場所までお届けします。

※2012年5月現在 [2-0132]

株式会社 **モントラベル**

〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
TEL. 06-6531-1344
FAX. 06-6531-1346
http://www.monto.co.jp
仏跡参拝ならお任せください!

浜屋は関西最大級の
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。

やすらぎの
世界を創る

浜屋

通話料無料・浜屋姫路本社フリーダイヤル

お問い合わせ
お申し込みは **0120-1616-94**

●受付時間/午前10時~午後6時30分

ご寺院、お役に立てる商品が、
きっと見つかる情報誌!

寺がある、法が活きる、寺の友社。

株式会社 **寺の友社**

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2
TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29
http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

だいひ 絵日記

- 10月20日(火) 大悲の会編集会議(第20号読み合わせ)
 - 10月24日(土) 佛青懇和会大阪別院仏具おみがき
 - 10月27日(火) 大阪別院報恩講(法話:大谷義博師)①
 - 11月17日(火) 大悲の会編集会議(第20号読み合わせ)
 - 11月27日(金) さつき会御正忌報恩講奉仕活動(~28日)
 - 12月19日(土) 佛青懇和会研修会(声明講習会・講師:寺田宗隆師)
 - 12月25日(金) 大悲の会編集会議(第20号発送作業・第21号内容検討)
- (さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

創業安政3年

京 佛 具 調 進

森田屋

福野御佛具處

〒601-8424

京都市南区西九条猪熊通九条上る

tel. fax 075-691-8423

京
懐
石

慶事、仏事、各種会合等の際は、
和光菴の仕出し料理を
御利用下さい。

和
光
菴

株式会社 和光菴

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp

西天満店 結心(ゆいごころ)

〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1階
TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com

夕に感謝 朝に礼拝



朝 伝統工芸 京仏壇・京仏具
に 礼拝 (株) 若林

www.wakabayashi.co.jp

京都市下京区七条通新町東入

☎(075)371-3131代 年中無休

E-mail info@wakabayashi.co.jp

フリーダイヤル ☎0120-37-8585(各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店・近江草津店・福岡営業所

和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・
箏)出張演奏いたします。

曲目はリクエストできます。

事務局:阪南市新町 宝林寺

電話 072-472-1414

<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

社会福祉法人 至心会

淡路介護老人福祉施設ピハ-ラ
(特別養護老人ホーム・ショートステイ)

東淀川区淡路 5-11-17

電話:06(6370)5501

東淀川区中部地域包括支援センター ぴは-ら
(地域包括支援センター)

電話:06(6325)6915

ピハ-ラこのみ園

(デイサービス・訪問介護・居宅介護支援)

東淀川区菅原 7-15-14

電話:06(6325)6911

私たちが求めるもの。
それは、支え合う人間関係です。

協 賛

法 友 会
さ つ き 会
佛 青 懇 和 会

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー

株式会社 石留石材

ホームページ

<http://www.ishitome.co.jp>

本社:京都市中京区堀川御池角

TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



大阪別院修正会

1月2日(土) 正午

大阪別院彼岸会

3月17日(木) 午後2時

法話：長田 譲 師

3月20日(日・祝) 午後2時

法話：道野真弘 師

3月23日(水) 午後2時

法話：寿栄松正顕 師

本山佛光寺茶所布教

毎日午前7時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

3月上旬 行友伸二 師(光宝寺)

3月下旬 佐々木太一 師(常光寺)

大阪教区寺院で開催される法話会

◎浄方寺(大阪市北区・06-6371-9040)

1月11日(月・祝) 午後2時、7時

「聞法会」法話：佐々木大観 師

3月22日(火) 午後2時

「聞法会」法話：足利孝之 師

◎仏願寺(大阪市東住吉区・06-6702-0994)

1月14日(木) 午後2時

「定例法話会」法話：花岡静人 師

2月14日(日) 午後2時

「定例法話会」法話：安方哲爾 師

3月14日(月) 午後2時

「定例法話会」法話：仲井秀明 師

◎高照寺(堺市北区・072-252-2122)

2月20日(土) 午後2時

「真宗講座」法話：三木彰円 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください

編集秘話

3回目の「大阪探検」の担当でした。いつもどこを紹介しようかと大変悩みます。今回の勝尾寺には一昨年の紅葉の頃に、取材をかねて人生で初めて訪れました。「近いからまた今度…」と敬遠していた大阪の名所に、『大悲』を縁として足を運ばせていただける。編集を担当していて良かったと思えることのひとつです。(門川)

編集後記

『大悲』の編集。文章もさることながら写真を決めるのもなかなか難しい作業です。四季に応じた写真にするため一年前には撮影をしています。今回の「大阪城」ですが、一昨年の2月14日、珍しく雪が積もったので、法務終了後に現地へ向かい撮影しました。気温が徐々に上がったため、かなり解けてしまいましたが……。 (隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第20号(冬号)
平成28年(2016年)1月1日発行(発行部数2100部)

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲(会長)

隅谷俊紀(副会長)

寿栄松正顕(会計)

玉出宗順(会計)

門川崇志(監事)

佐々木太一

葦名 彰